



**シラバス参照**

タイトル「**2015年度 経済学部シラバス**」、フォルダ「**2015年度 経済学部シラバス—専門科目（基礎専門科目）**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	市場経済論		
担当教員	<a href="#">石橋 貞男</a>		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	火3,金2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	4
準備事項			
備考	標準履修年次 1年次		
科目名（英語表記）	Market Economics		
授業の概要・ねらい	資本主義経済システムにおける市場経済とその背後にあり市場を支える生産システムとを原理的に理解することを課題にします。まず、市場経済の基礎的な概念である商品・貨幣・資本について展開したあと、資本の生産過程と資本の流通過程を分析し、最後に資本の再生産過程の仕組みを明らかにします。		
授業計画	回	内容	回 内容
	1	ガイダンス	16 第2編 経済構造論 第1章 労働＝生産・配分・消費過程 ①労働過程
	2	序章 市場経済論の対象と方法	17 ②生産・配分・消費過程
	3	第1編 流通形態論 第1章 商品 ①商品とは何か	18 ③経済原則
	4	②商品の交換方式（1）	19 第2章 資本の生産過程・流通過程 ①資本の価値形成過程
	5	③商品の交換方式（2）	20 ②資本の価値増殖過程
	6	第2章 貨幣 ①貨幣の価値尺度機能	21 ③資本の回転（1）
	7	②貨幣の交換媒介機能	22 ④資本の回転（2）
	8	③貨幣の価値保蔵機能	23 第3章 資本主義的生産力の発展 ①資本主義的生産力の発展の内的動力
	9	④現代の貨幣	24 ②機械制大工業
	10	第3章 資本 ①資本とは何か	25 ③労働賃金形態
	11	②商品売買資本の形式	26 第4章 資本の再生産過程 ①資本の再生産過程の条件
	12	③商品生産資本の形式	27 ②資本の蓄積過程
	13	④貨幣融通資本の形式（1）	28 ③再生産表式（1）
	14	⑤貨幣融通資本の形式（2）	29 ④再生産表式（2）
	15	⑥貨幣融通資本の形式（3）	30 まとめ

到達目標	市場経済における基礎的な経済の形態と市場経済の背後にある生産という経済の実体との総合的な理解を目指します。
成績評価の方法	定期試験(70%), レポート提出(15%), 出席状況(15%)による。 出席状況については, LiveCampus「出席管理」によります。授業中に「出席確認」することがある。
教科書	授業の開始時に通知します。
参考書・参考文献	石橋貞男著『資本と利潤』税務経理協会, 1992年。
履修上の注意・メッセージ	授業計画は, 進捗状況により変更することがあります。
履修する上で必要な事項	「講義」をしっかりと理解することが大切です。
受講を推奨する関連科目	基礎専門科目「市場経済論」は, 基礎専門科目「経済原論」とセットになっており, 両方により資本主義経済システムの原理の全体像を解明します。
授業時間外学習についての指示	時事問題に関心を持つことが大切です。 そして時事問題を理論的に理解しようとするのが重要です。
その他連絡事項	特になし。

